

### 3. 兵庫県神河町における遺跡の発掘と活用

京都府立大学文学部考古学研究室

#### 1. はじめに

考古学研究室では、兵庫県神崎郡神河町において『福本遺跡調査報告書Ⅱ』（神河町教育委員会 2008）の刊行に協力したことを契機として、継続的に調査研究を進めてきた。とりわけ神河町教育委員会に協力して 2017 年度より始まった堂屋敷廃寺の発掘調査では、福本遺跡の瓦窯で焼かれた瓦の供給先となる未知の白鳳寺院の存在が明らかとなるなど、重要な知見が得られつつある。また、調査だけでなく地元（神河町福本区）の主催する福本遺跡まつりにおいて、学生が主体となって福本遺跡を身近に感じられる体験メニューや発掘速報ブースを企画し、調査成果の普及や活用にも努めてきたところである。本稿では今年度の取り組みを紹介する。（諫早直人）

#### 2. 堂屋敷廃寺の発掘調査

昨年度までの調査では古代にまで遡るとみられる基壇や、それを削平した後に建てられた礎石建物などが検出されている。第 3 次となる今年度調査は、昨年までの調査で確認されていた基壇の範囲確認を目的とし、2019 年 9 月 21 ～ 30 日にかけておこなわれた（神河町教育委員会 2020）。参加者は以下の通りである。

菱田哲郎、井上直樹、諫早直人（以上、教員）、陰地祐輝、岡田大雄（以上、博士前期課程）、大須賀広夢（科目等履修生）、土田雄大、鈴木康大、池田野々花、小林楓、溝口泰久、湯浅美玖、楠山華、土井悠起、松田篤、守田悠、吉田祐太（以上、学部生）

今回の調査区は、昨年度までの調査区の東西にそれぞれ一ヶ所設定した。東側の調査区では基壇土がさらに東へ続くことがわかった。西側の調査区では基壇西辺を画するとみられる正方位の南北溝が検出された。この南北溝との重複関係から、既往の調査で確認されていた礎石建物は基壇が削平されたのちに建てられたものであることが明らかとなった。

9 月 29 日には本発掘調査の現地説明会が実施された。晴天に恵まれたこともあって、地元住民を中心に約 50 人が参加した。各調査区での説明は学生が担当し、一般向けとは別に小・中学生向けの説明を実施するなど、わかりやすい説明を心がけた（写真 1）。（池田野々花）



写真 1 発掘調査現地説明会で小・中学生に説明している様子

### 3. 福本遺跡まつり

福本遺跡まつりは神河町福本区主催のもと、神河町教育委員会も企画出展しているイベントである。本年は10月26日に開催され参加者は約200人であった。考古学研究室は2016年度から毎年出展しており、今回で4度目の参加である。今年度は菱田哲郎、井上直樹、諫早直人（以上、教員）、陰地祐輝、岡田大雄（以上、博士前期課程）、大須賀広夢（科目等履修生）、池田野々花、小林楓、溝口泰久、湯浅美玖（以上、学部生）の10名が参加した。

今年度は、学生が主体となって堂屋敷廃寺の調査成果についてのポスター発表や遺物展示をおこなうとともに、「瓦バッチ」・「福本遺跡わなげ」という二つのイベントを企画した（写真2）。考古学実習において、藤川明宏氏（福井市教育委員会）、金田あおい氏（藍寧舎）、小沼美結氏（飛鳥資料館）、仲林篤史氏（東大阪市教育委員会）より文化財の活用に関する様々な講義を受けた経験を踏まえ、地元の文化財により親しみを感じてもらえるように工夫をした。特に「瓦バッチ」は藤川明宏氏が考案した銅鏡チョコレートから着想を得たもので（藤川2015）、范を用いて製作される古代瓦の特徴を活かして、樹脂製のメス型にお湯でやわらかくなるプラスチック製の粘土（おゆまるくん）を押しあて、瓦当形のバッチをつくるという体験である。福本遺跡から出土した軒丸瓦をモデルとし、SketchUpというソフトウェアを用いて設計したメス型モデルを歴史学科が所蔵する3Dプリンター（MakerBot Replicator Z18）で出力した。



写真2 瓦バッチづくりの様子

当日は小さい子供からお年寄りまで幅広い年代の方に参加していただき、各企画とも地元の方と交流しながらまつりを盛り上げることができた。バッチのモデルとなった福本遺跡出土軒丸瓦や堂屋敷廃寺で出土した瓦片を展示して、瓦バッチと比較しながら説明することで、少なからず遺跡の理解促進にも貢献できたのではないかと考える。（小林楓）

### 4. おわりに

2019年4月1日から施行された改正文化財保護法によって、文化財行政は従来の保存重視から活用重視へと大きな転換を迫られている。その一方で残念ながら本学を含めて、大学教育における文化財の活用に関するカリキュラムはまだ十分に整備されていない。「活用」とするには粗削りな内容ではあるが、ここに学生たちの試行錯誤の結果を記録した次第である。最後に、学生教育に貴重な「場」を提供していただいた神河町の皆様に深く感謝したい。（諫早）

#### 参考文献

神河町教育委員会 2008 『福本遺跡調査報告書Ⅱ』

神河町教育委員会 2020 『堂屋敷廃寺発掘調査報告書Ⅱ』

藤川明宏 2015 「三角縁神獣鏡チョコ作りワークショップについて」『博物館研究』 Vol.50 No.8